

エゾシカの食害調査

当センターでは、平成9年より毎年知床の国有林内でエゾシカによる樹木食害調査を行っています。樹木食害とはエゾシカが樹木の皮をはぎ取り食べてしまう被害で、樹皮を全周食べられると樹木が枯れてしまい、林業被害の拡大や森林生態系のバランスが崩れる可能性もあり深刻な問題となっています。

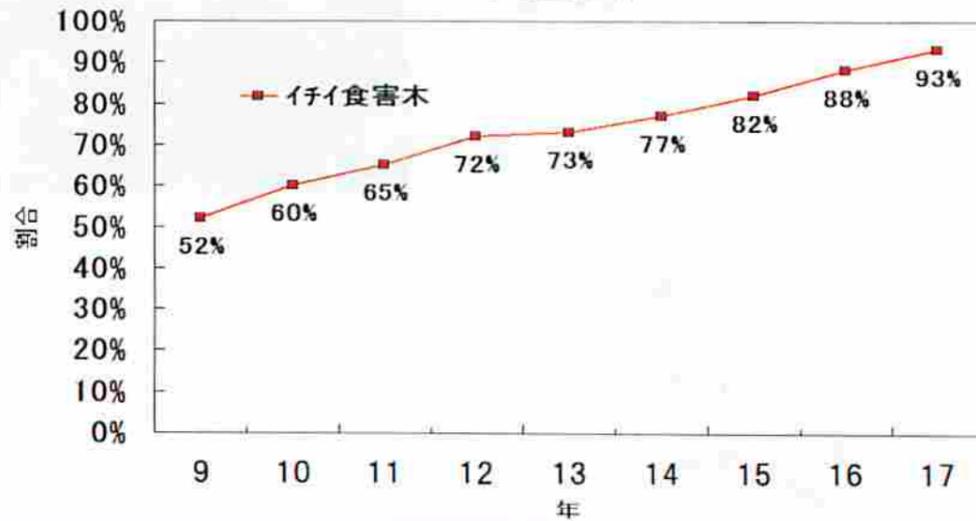
下表はイチイの食害推移をあらわしたものです。平成17年5月に実施した調査から、昨年春から今春までに新たに食害を受けたイチイは37本であることが分かりました。食害の経過は、平成8年から9年にかけて急激に食害が増え、その後徐々に増え続け、平成17年ではイチイ全体の93%が食害を受ける結果となりました。

調査区はイチイ林木遺伝資源保存林に指定されており、イチイを樹皮食害から保護するために、平成12年秋に調査区内のイチイ約100本に樹皮食害防除網を巻き、経過をみています。更に15年度から、知床博物館と共催のイベントで、地元の小学生と一緒に、樹皮食害防除網を巻き、被害の状況と森林の大切さを伝えています。これからもイベント・調査などを通じ食害防除網を巻くとともに、樹木を保全する対策を考えていきたいと思ひます。



樹皮を食べていたエゾシカ

イチイの食害推移



＝職員紹介＝ 4月1日をもちまして所長が変わりました。

4月1日よりセンター所長を拜命しましたたにもとてつお谷本哲朗です。平成7年より12年1月まで網走管内（清里営林署緑森林事務所→紋別市役所出向→北見分局指導計画課）におりまして、東京、福岡勤務を経て鮭のごとく戻って参りました。今年是世界自然遺産への登録も予定され、知床が全国的に注目される年になります。皆様の協力を得ながら、知床の魅力を全国的にPR出来るよう頑張りたいと思っています。宜しくお願いいたします。

知床の森から

平成17年5月発行 第95号



(写真：春の知床五湖の湖畔から)

北海道森林管理局 知床森林センター
〒099-4113 北海道斜里郡斜里町本町11番地
電話 01522-3-3009 FAX 01522-3-3160
ホームページ <http://www.siretoko.knc.ne.jp/>



知床は今

知床への春の訪れは、花や雪融けといった自然現象で感じる事が多いですが、冬期間閉鎖されていた道路が開通した、というニュースもこの時期の風物詩の一つです。

ウトロと羅臼を結ぶ国道334号線（知床横断道路）は毎年11月から冬期の通行止めに入り、例年ゴールデンウィーク前に開通します。今年も4月28日の開通を目指し、1ヶ月以上前から除雪作業が行われていました。ところが、開通直前の4月21日に降ったまとまった雪と強風で新たな除雪と道路脇の斜面に出来た雪庇（せっぴ）[※]の除去が必要となり、開通時期の延期を余儀なくされました。その後も悪天候は続き、開通は例年より大幅に遅れた5月15日（日）となりました。横断道路の開通が連休後となったのは5年ぶりとのことで、連休前の道路開通を待ち望んでいた方々には残念な結果となりましたが、知床の自然の厳しさを改めて感じさせる機会ともなりました。



知床横断道路と羅臼岳

※ 雪庇（せっぴ：強風により斜面等に発生する雪の庇（ひさし）。雪崩の原因となる。



知床峠の駐車場に集まる観光客

一方、知床観光の名所である知床五湖の周遊遊歩道は、4月22日より通行可能となりました。五月上旬時点で、五湖周辺はまだまだ雪深く、木道も雪をかぶり、三湖より奥には長靴がないと入れない状況でしたが、連休中ということもあり、多くの観光客が訪れていました。昨年は、ヒグマの出没により例年になく遊歩道を閉鎖する期間が長い年となりました。今年是世界自然遺産への登録も控え、知床を訪れる人が更に増えることが予想されます。世界遺産登録をきっかけに、五湖を訪れた一人でも多くの方が人間と野生動物との共存に思いを巡らせてもらえれば良いと思ひます。

今年のイベント計画が決まりました よろしくお願ひします

今年度のセンターのイベント計画が決まりました。

皆さんを『世界自然遺産候補地：知床の森林』へご案内いたします。いずれも自然が選んだ造形美です。四季各々に、新たな自然との出会いがあると思います。

また、斜里町立知床博物館との共催により、さらに内容の充実したイベントにしていきたいと思ひます。

なお、詳細につきましては、開催日が間近になった1ヶ月前頃から、ホームページ、市や町の広報誌や新聞などでお知らせいたします。



昨年の様子（海岸林から流水をながめる子供たち）

◎ 森林レクリエーション・in知床

実施月日（曜日）	行 事 内 容	実 施 場 所	募集人員
平成17年 7月28日（木）	可憐な花を求めて神秘の羅臼湖に行こう	羅臼湖	23名
8月下旬（木）	知床の森でキノコの秘密を探ろう	自然観察教育林	23名
10月13日（木）	オシンコシンから弁財崎へ古の道を歩こう	オシンコシン周辺	23名
平成18年 3月2日（木）	海一面の流水！エゾシカ集うフレベの森を散策しよう	フレベの滝周辺	23名

◎ 森とのふれあい

実施月日（曜日）	行 事 内 容	実 施 場 所	募集人員
平成17年 6月19日（日）	初夏の知床の森で地球温暖化について考えよう	ボンホロ沼、センター庁舎敷地内	23名
9月下旬～ 10月上旬	ドングリさんになったかな？オンコさん大丈夫？	イチイ林木遺伝資源保存林外	30名
11月20日（日）	森の恵みのクリスマスリース作り	センターセミナー室	30名
平成18年 1月14日（土）	冬休み親子木工体験	センターセミナー室	30名
2月18日（土）	流水押し寄せ海岸林を突き進もう	溝釣沼周辺の国有林	30名

イベントで訪れる知床の自然

○ ボンホロ沼（6月）

ボンホロ沼は、知床横断道路の西側に広がる見事な針広混交林の中にあり、雪解け水が溜まる春先から初夏までにはしか見られない『幻の沼』と呼ばれています。幻想的な沼周辺の森林には、ウグイス、アカゲラやカッコウなどの野鳥も生息しています。



○ 羅臼湖（7月）

羅臼湖は周囲3.7kmであり、目の前の知西別岳と背後の天頂山の間に、姿を隠すようにしてひろがっています。羅臼湖へ至る遊歩道沿いには大小5つの沼と湿原が点在し、高山植物と花々を観察することができます。天候が変わりやすく、晴天で澄んだ湖面に写る羅臼湖もさることながら、霧の中に映える湿原もなかなか神秘的な光景です。



○ 知床自然観察教育林（8月）

知床自然観察教育林は、樹齢数百年、胸高直径1m超のミズナラ大木が生い茂った原生的な森林です。この森ではクマゲラの食痕やヒグマの爪痕が観察できます。また秋には様々なキノコも観察されます。今年のイベントコースには含まれていませんが、幌別川の清流に連なる轟きの滝や、クマゲラの滝も美しいです。



○ オシンコシン周辺（10月）

オシンコシンの滝の上を通る旧道は4kmあり、現在は使用されていません。旧道沿いにはミズナラの大径木、オヒョウニレ、トドマツやエゾマツなどの針広混交林に、高樹齢のイチイが混生し特徴的な森林景観をつくっています。また、トドマツにはヒグマの爪痕やクマゲラの食痕がみられ、野生動物の存在を身近に感じることができます。



○ フレベの滝（3月）

オホーツク海に流れ落ちるフレベの滝周辺の森林を「歩くスキー」で散策します。滝の上部に広がる雪原では、越冬するエゾシカの群れが観察できます。また流水の地平線を眺めながら、断崖沿いの森林を巡ります。林床が雪に隠れた冬の知床の森林も、歩きやすく心地よいものです。エゾモモンガの食痕やエゾクロテンの足跡なども観察できます。

